

グループ会社と一体となった駅業務委託の拡大に関する申し入れ交渉終了!

第1項 委託する業務内容及び販売体制等を明らかにし、大館駅委託前後の変化について明らかにすること

組合

- 業務内容や勤務体制についてどうなるのかと職場からは不安の声があがっている。
- 車いす対応はチェアメイトを使用していて2名での対応を義務づけられているが変わらないか。
- 運転業務に関してルールが変更になっているものもある。委託後に出来ること出来ないことの教育をしっかりとやるべき。

会社

- 出改札や案内業務となる。現在の大館駅の体制が基準となる。泊り勤務1名、日勤2名で検討されている。地域との連携もあるのでブロック長も置く。
- 2名での対応は変わらない。安全やサービスの低下にならないように本体として指導していく。
- 抑止手配が取れていれば委託駅でも線路に降りて拾得物を取れるようになった。支社とL i v i tと一緒に各箇所に行って教育している。

第2項 異常時に管理駅や地区で対応する場合に足ロスが発生することから対策を講じること

組合

- 東能代から駆けつけるとなれば約1時間かかる。委託後もお客さまサービスが低下しないようにしなければいけない。
- 管理駅がバスの手配をすとなれば、これまで大館駅で手配していたバス会社との連携や引き継ぎが必要ではないか。

会社

- 大館駅に限り委託後も大館駅でバス代行等の対応はすることになる。しかし、早口駅等で列車が運行できないとなった場合は管理駅でバスを手配することになるが社員が到着するまで時間がかかるようであれば乗務員に代行バスまでの誘導をお願いすることもある。
- 地区で年に数回バス会社との連絡会を開催している。

第3項 運転取扱いに関して県北地区センターにて技術継承できる体制にするため教育の充実を図ること

組合

- 具体的にどのように継承できる体制を整えていくかが課題になる。

会社

- 今年度、各地区に運転取り扱い業務に長けたエルダー社員を配置している。また営業企画課にもアドバイザーを配置しているので、この方を中心に勉強会や訓練会で知識・技能を継承していく。

第4項 この間、大館駅で管理していた寮、代用寮の水道料金の支払い、ハチ公神社の賽銭箱の取り扱いについて明らかにすること

会社

- 大館寮についてはつがる寮長が管理することで検討している。
- 水道料金は社宅の方が使用した分を振り込む形を考えている。手数料は負担にならないようにする。
- ハチ公神社の賽銭箱に関してはL i v i tの収入とする。

第5項 出向期間や箇所について面談等を行い、本人希望を尊重すること

会社

- スムーズに移行していくためにも面談で個人把握をして人選していくことになる。